

きゅうさどころざんさいこうしせつ

重要文化財旧佐渡鉱山採鉱施設の修理をしています

◆建物の紹介（右下の写真）

現存する大立^{おおだて}竪坑^{たてこう}櫓^らは、昭和初期に建てられた坑内と坑外を繋ぐための施設です。上部櫓の下には延長165mに及び竪坑（垂直方向の坑道）とそれに接続する水平坑道があり、上部櫓に取り付けられた昇降ゲージによって坑道内に人員や資材を運搬していました。

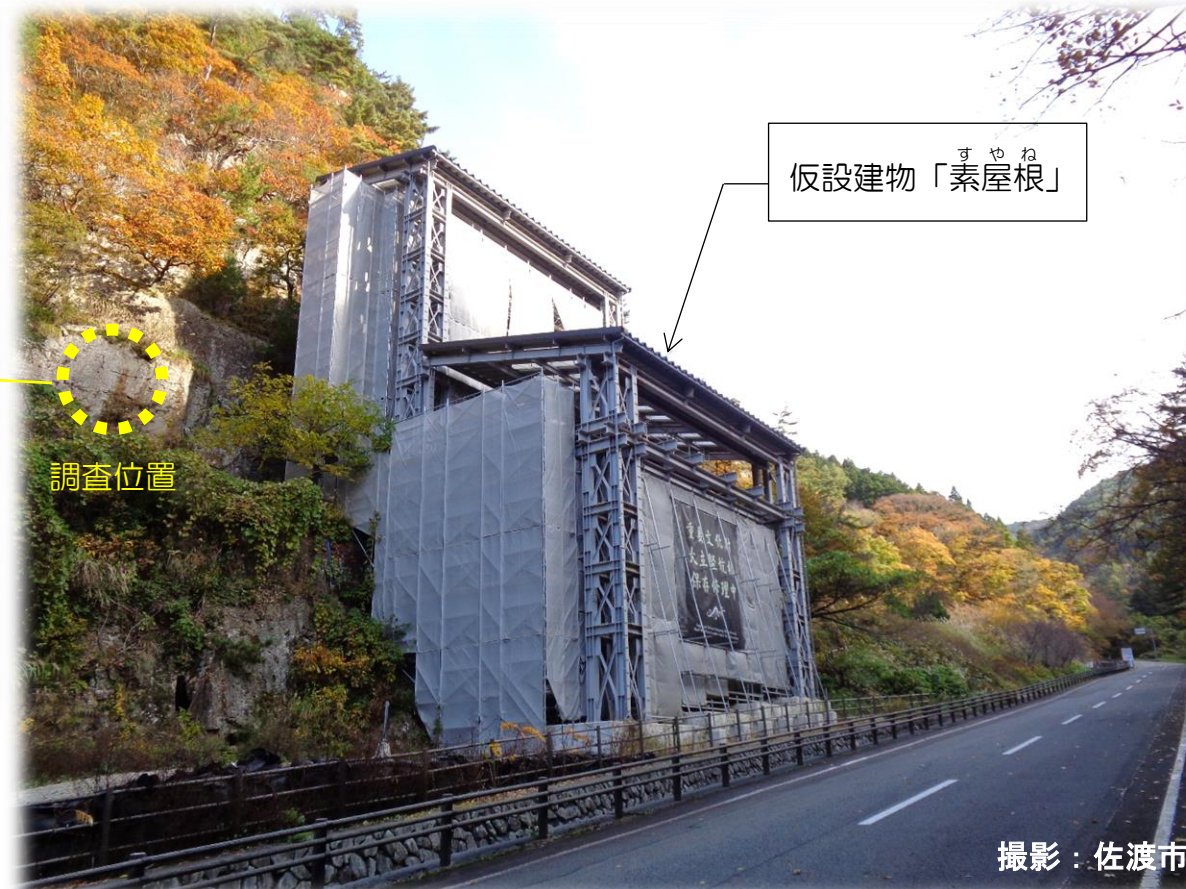
現在は仮設建物「素屋根」^{すやね}に覆われていて建物の姿を見ることはできませんが、これから始まる修理工事に向けて準備を進めています。

◆令和4年度に行ったこと（左下の写真）

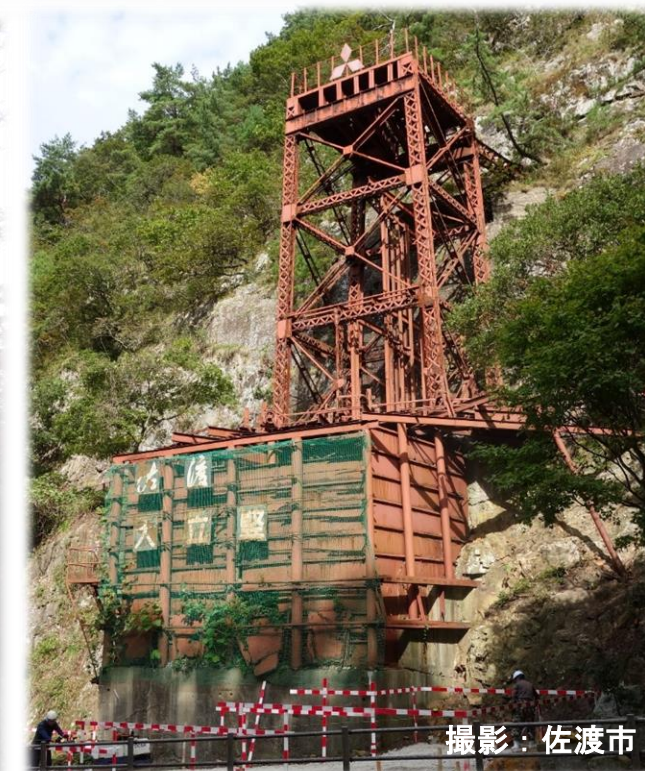
大立竪坑櫓は、急勾配の斜面を背にして建つ建物です。長いあいだ雨風にさらされた斜面は所々で劣化が進んでおり、今後の修理工事を安全に進めることが困難な状態でした。令和4年度は「これから修理に携わる方々の安全」と「修理後に来訪されるお客様の安全」を守るために、ロッククライミング調査で斜面の危険な箇所を洗い出しました。来年度からは、調査結果を基にして斜面の落石対策工事を実施する計画です。



撮影：業務受注者



撮影：佐渡市



撮影：佐渡市

▲ 大立竪坑櫓（修理工事前）
修理工事が終わるまで、建物は見られません



本工事は、文化庁・新潟県の補助を受けて、佐渡市が実施しています。
お問合せ先：佐渡市世界遺産推進課 0259 (63) 5136